

もしもの災害に備え

総合防災訓練を実施



大規模災害時の初動活動を想定した図上訓練。自主防災組織役員らが、地区内住民の安否確認や食糧・物資の調達、役割分担などを話し合いました

市では、平成26年度の市総合防災訓練を6月8日、市消防防災センターを会場に実施しました。今年は東和町を重



パケツリレーによる初期消火訓練を行う参加者

点地域に指定。当日は、市や消防関係団体など約30団体300人が参加しました。訓練の冒頭あいさつした布施孝尚市長は「本日の訓練で習得したことを地域に持ち帰り、防災対策に取り組んでいただきたい」と述べました。訓練では参加者が三つのグループに分かれ、初期消火や応急救護、指定避難所の運営訓練などを実施。自主防災組織役員による初動活動の図上訓練も行われ、それぞれ真剣な表情で訓練に参加していました。

緑化功勞で全国表彰

中田・伊藤富士雄さん

平成25年度緑化功勞者として、本市中田町の苗木生産者、伊藤富士雄さん（弥勒寺北）が国土緑化推進機構会長賞（衆議院議長賞）を受賞しました。

伊藤さんは、昭和25年に山林種苗の生産業に従事。以来、優良苗木の生産に尽力。市内の小中学校に緑化木を寄

贈するなどの活動が認められ、今回の受賞となりました。表彰式は6月1日に新潟県で開催された第65回全国植樹祭で行われました。

6月26日に市役所を訪れ、布施孝尚市長に受賞の報告をした伊藤さんは「受賞は大変光栄なことです」と、笑顔で話していました。



緑化功勞で衆議院議長賞を受けた伊藤さん（左）

バイク運転技能競う

出場の本市2人が県優勝

二輪車安全運転宮城県大会（県交通安全協会など主催）が6月15日、仙台市の県運動センターで開催。本市から出場した登米高3年の早川直也さん（登米町八丁田）と団体職員佐々木夏実さん（豊里町西二ツ屋）が優勝しました。大会は、二輪車（バイク）の安全運転技能と交通ルール

の向上を図ることを目的に毎年開催。本年度44回目となります。「高校生等クラス」と「女性クラス」（ともに50cc）にそれぞれ出場した早川さんと佐々木さんは、いずれも満点で優勝しました。優勝した2人は、8月2、3の両日、三重県の鈴鹿サーキットで開かれる全国大会に出場します。



県大会で見事優勝。全国大会に出場する早川さん（右から2人目）と佐々木さん（左から2人目）

地域づくり計画発表

策定10団体が効果と課題

市内のコミュニティ組織が策定を進めている「地域づくり計画」の発表会が、7月2日に開かれました。

会場の中田農村環境改善センターには、市内のコミュニティ組織の関係者約120人が参加。発表会では、昨年度計画を策定した中田町の上沼コミュニティ運営協議会や東

和町の錦織地域振興会など10団体の代表者が、取り組みの効果や課題などを述べました。参加者は、地域づくりの話に熱心に耳を傾け、メモを取っていました。

市では昨年度に引き続き、地域づくり計画の策定に取り組みコミュニティ組織を対象に支援しています。



計画策定の効果と課題を発表するコミュニティ組織の代表者

優良工事業者を表彰

13業者と技術者16人



優良工事業者として表彰された皆さん

市では7月4日、本年度の市優良工事業業者、市水道事業優良工事業業者の表彰式を開催。模範となる工事を施工した13業者を表彰しました。

表彰は、平成25年度中に完成した300万円以上の工事が対象。市発注工事253件、水道事業所発注53件の工事を

審査しました。本年度から該当工事の現場代理人も表彰対象に加えることになり、技術者16人を表彰しました。

追公民館で行われた表彰式では、布施孝尚市長が業者の代表者に表彰状を手渡し「人材不足、資材高騰の中、素晴らしい工事をしていただき感謝します」と述べました。



メガソーラーの立地協定に署名し握手する布施市長（右）と橋崎社長。本年6月に工事に着手。平成27年2月に発電を開始する予定です

市有地にメガソーラー

東京エネシスと立地協定

市では、発電施設の建設などを手掛ける東京エネシス（東京都・橋崎ゆう代表取締役社長）と、市有地に大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の立地協定を結びました。

建設予定地は豊里町白鳥山の市有地で、敷地面積は約3万9800平方メートル。東京エネシスが市から20年間、土地

を賃借し、太陽光パネルを約1万枚設置します。出力は一般家庭660世帯の消費電力に相当する2・57メガワットを見込んでいます。

立地協定の調印式は6月11日、市役所庁舎で開かれ、布施孝尚市長と東京エネシスの橋崎社長が、賃貸借契約書に署名しました。